

## メキシコ デジタルガバナメント戦略 10 月

### VE センター

#### 1. 背景

・基本データ([JETROデータ](#))

国土:196 万平方キロメートル(日本の約 5 倍)

人口:約 1 億 2,619 万人(2018 年世界銀行)

政治体制:立憲民主制による連邦共和国

一人当たりの国民所得 9,807 米ドル(2018 年, 世銀)

GDP(名目):1 兆 2230 億米ドル(2018 年, 世銀)

失業率(%) (INEGI):3.33(2018 年 INEGI)

・[国連の世界幸福度ランキング 2020](#):24 位

・[早稲田大学世界電子政府進捗度ランキング:2018\(44 位\)](#)

・[OECD Open Government Data 2019](#):7 位

・[Global Competitiveness Index 4.0 \(World Economic Forum\)](#) 2018 (46 位)

:ウイルス死亡数

メキシコ ウイルス死亡数 2020.8.14(現在):100 万人当たり(429 人):世界で 5 位

[COVID-19 Dashboard by the Center for Systems Science and Engineering \(CSSE\) at Johns Hopkins University](#)

#### 2. デジタルガバナメント戦略

1) 戦略 1: デジタル体制づくり 2013-2018、2019-2024

[国家デジタル戦略\(National Data Strategy\)](#) はペニャ・ニエト大統領政権が 2013 年に誕生して作成した。政権期間(2013-2018)。同戦略によるとメキシコは、2011 年時点でデジタル化指標が OECD 加盟国のなかで最下位、ラテンアメリカ諸国のなかでも 5 位と後塵を拝していた。メキシコ政府は、情報通信技術(ICT)の普及・向上とデジタル化の推進により、2018 年まで(大統領政権 1 期 6 年)にメキシコのデジタル化指標を OECD 加盟国の平均値まで引き上げ、ラテンアメリカ地域のリーダーになるという目標を設定した。この[デジタル戦略](#)達成のための 5 つのアプローチの 1 つ(Digital Economy)に [OGD](#) の整備が挙げられ、このなかで市民参加の促進、政府の透明性の向上、公共サービスの改善、政府の説明責任を実現していくことを提唱している。

\* ビジョン

[メキシコは、ラテンアメリカのデジタル政府の大国になる\(2018.11.1\)](#)

2013 年 8 月 30 日に官報によると、メキシコはデジタル化において OECD 諸国の中では最下位であり、2013 年の値は 37.05 ポイントでラテンアメリカでは 5 位となっている。

\* 戦略

この戦略目的は以下のシナリオに基づいて作成した。

・戦略目的 1. 政府トランスフォーメーション(Government Transformation)

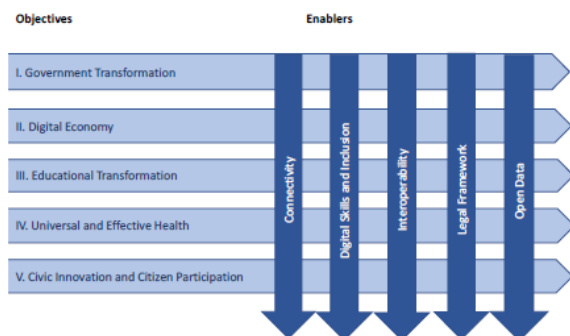
行政における ICT の導入を通じて、公共サービスの利用者としての市民の体験に着目し、社会と行政の新しい関係を構築する。

・戦略目的 2. デジタル経済(Digital Economy)

経済プロセスに ICT を取り込んで、生産性の向上、経済成長、新しい雇用創出を促進し、豊かなメキシコの実現に貢献するデジタル経済のエコシステムを開発する。

戦略目的

実施方法



Source: Government of Mexico (2017) *Electronic Government Policy*

図1 デジタルガバナメント戦略構成図

・戦略目的 3. デジタル教育 (Quality Education)

教育管理、教育・学習プロセス、教員養成、文化・芸術の普及・保存などの教育プロセスに ICT を統合し、人々が情報・知識社会の中にうまく溶け込めるようにする。

・戦略目的 4. デジタル医療 (Universal, Effective Health)

ICT が提供する機会を活用するために、サービス側では、包括的なデジタル医療政策を作成し、広範囲で、効果的なアクセス、保健サービスの質の向上を図る。医療体制側では設置された医療インフラストラクチャと保健資源のより効率的な利用を実現する。

・戦略目的 5. 公共安全 (Public Safety)

安全を推進し、自然災害の被害を防止・軽減する共通の目標に向けて市民と政府が連携し社会的暴力を防止するために ICT を活用する。

\* 実施方法

1. 統合ネットワーク (Connectivity) :  
ネットワークの整備と容量拡大、ICT 分野低価格化の促進
2. デジタル技術教育 (Digital Skills Inclusion) :  
デジタルサービスを運用するための技術やスキルの開発
3. 相互運用 (Interoperability) :  
情報や取引を共有する技術システムに必要な、組織開発
4. 法律的枠組み (Legal Framework) :  
ICT の導入と促進に資する確実性と信頼の環境の法的枠組み創り
5. オープンデータ (Open Data) :  
一般の人々が利用できる便利なフォーマットでの政府情報

2) 戦略 2: デジタルガバナメント体制づくりの評価 (OECD) (2016 年)

[OECD デジタルガバナメント評価評議会](#)はメキシコが進めているデジタル経済の開発のためにすすめている [Open Government Data\(OGD\)を評価した](#)。メキシコは中央オープン政府データポータル [datos.gob.mx](#) の公開などが評価され、OECD の OURData インデックスで 10 位にランクし、メキシコの政策を分析するとともに、国家目標を達成し、OGD を最大限に活用するための提言を行っている。

- ・ 公務員、社会起業家、企業、ジャーナリスト、市民社会がオープンデータを使用することを積極的にサポートする。
- ・ 政府のオープンデータから価値を生み出すスキル・トレーニングを提供する。
- ・ データの生産者と消費者間の積極的な協働がデータの再利用を促進する鍵であるので、オープンデータを中心にユーザー・コミュニティを構築する。

\*2018 年以降

2019 年に[アンドレス・マヌエル・ロペス・オブラドール\(AMLO\)政権](#)が誕生し、[国家開発計画\(PND\) 2019-2024](#)を作成して、[2019.6.27 に下院の承認を得て成立した](#)。PND2019-2024 は「包括的な開発を達成するための変革」を全体目標とし、(1)正義と法の支配、(2)福祉、(3)経済開発、の 3 本の柱と、それらを共通に貫く(a)性の平等・無差別・包摂、(b)腐敗撲滅と行政の改善、(c)国土開発および環境保全、の 3 つの軸を設定している。この計画には包括的なデジタル戦略未だない。

+コメント: デジタルガバナメントは汚職、犯罪、無法な政策を無くしなければならない。

### 3)戦略 3: オープンデータの活用 (Open Government Partnership:OGP)

#### [OGP 4th 行動計画\(2019-2021\)](#)

2011 年の OGP の創設メンバーとして、メキシコは 1 次行動計画から参加し、4 次行動計画を 2019 年 12 月 10 日に発表した。この行動計画は 13 の行動計画からなり、6 つの行動計画は、480 人の参加の共創による Co-created コミットメントと呼んでいる。7 つ行動計画は連邦政府や市民社会の積極的な参加方法(第 5 段階-ロードマップの作成)で作成され Active コミットメントと呼んでいる。

1. 汚職防止: 市民参加で政府の 5 つの社会プログラムのパイロットプロジェクト実施する
2. 農村開発: 持続可能な農村開発へ市民参加を求める
3. 教育: 質の高い透明な情報で教育を受ける権利を保障する [SIGED](#)
4. 健康: 青少年の性と生殖の権利の保証を確立する
5. 雇用: 労働格差削減を促進する透明性を推進する
6. 公安: オープンで質の高い公安情報プラットフォームを構築する
7. 国家監視: 国家監視技術の利用の透明性を確立する
8. 介護政策: 介護業務の情報を透明で、効果的にするためのパイロットプロジェクトを実施する
9. 信頼: 公共の信頼を監視する戦略を立案し、実施する
10. 天然資源: [天然資源の透明性指標](#)の勧告を実施する
11. 最終受益者: [受益権](#)の開示する
12. 税関の腐敗と武器取引: 国内外の武器の流れと管理の透明性戦略を立案し、実施する
13. 地方オープン政府戦略: 連邦政府と地方を統合したオープンガバメント戦略を創る

メキシコは [OECD Open、Useful and Reusable data\(OURdata\)Index](#) の 2014 年の 10 位から 2017 年には 5 位になって、デジタルガバナメントとオープン政府のデータにおける世界的および地域的なリーダーとしての地位を確立した。

OGP に参加して作成したオープンデータの 4 次行動計画は AI として活用する。

### 4)戦略 4: データの AI 利用

[AI 戦略](#) : メキシコ

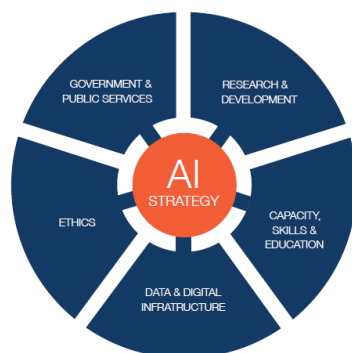


図 2 [国家 AI 戦略の主要テーマ](#)

## ビジョン: AI 革命を実現する

[Oxford Insights \(OI\)](#) (2017) でメキシコは 37 カ国の 22 位である。

### ガバナンス、政府、公共サービス (Government & Public Services)

1. 明確な戦略的方向性を設定する
2. 選ばれた省庁に創発技術革新チームを任命する
3. 政府はチャンピオンとして行動すべき
4. スマート AI 調達のガイドラインを作成する
5. メキシコの AI に関する政府戦略を開発および促進するために、複数の利害関係者のステアリンググループを作成する
6. マルチセクター 2030 AI ロードマップを開発するために、国や地方の俳優を含む、あらゆるセクターや分野の AI 実践者のネットワークを構築する
7. 議会で AI ワーキンググループを作成する
8. グローバルな議論で主導的な役割を果たす

### 研究開発 (Research & Development)

1. AI 研究のための国立センターを作成する
2. 学界と産業界のつながりを強化する
3. 民間セクターでの商業研究と応用 AI のための良い環境を作成する
4. AI 政府基金を作成する

### 能力、スキル、教育 (Capacity, Skills & Education)

1. AI の継続的な教育のためのツールを開発する
2. 公立および私立大学のコンピュータサイエンスおよび数学の学生を超えて AI 学習を広げる
3. 学校で計算思考アプローチを教える
4. AI とデータサイエンスの修士号と博士号を取得する学生の数を増やす

### データ基盤 (Data & Digital Infrastructure)

1. 復元力のあるオープンデータインフラストラクチャを維持する
2. メキシコのトレーニングデータを作成して AI アプリケーションに通知する
3. 個人のプライバシーを保護する

### 倫理と規制 (Ethics)

1. データ資産を競争法の範囲内に持ち込む
2. メキシコの AI 倫理評議会を作成する

「人工知能の開発は、火や産業革命の発明よりも大きな社会と経済に影響を与える可能性があります。これが、メキシコがオブザーバーだけでなく、その開発の主要な主体となる準備をしなければならない理由です。」

## AI 戦略作成ための優先事項

### 1. 短期 (現政権 2019–2025)

AI 戦略の公開

AI 実施グループの創設

### 2. 移行期 (新政権) 2026–2032)

AI のためのオフィスの管理体制を設計する。

### 3. 中期 (新政権) 2033–2039)

100 日間の AI アクションプランを展開する

AI 国策を継続して実施

### 4. AI のためのオフィスの創設 (新行政) 2040–2046

AI の国家戦略を所有している中央政府の部門で、部門横断の実施を支援する責任がある

#### 5) 戦略 5: AI との共生づくり

AI に移すデータは携帯でリアルタイムに人と対話出来るように高速の 5G に導入する。

現在の連邦政府は、すべてのリモートまたは経済的に貧しいコミュニティに電話とインターネットを提供すると約束している。携帯電話市場は 800 MHz のスペクトルと 2G から 4G にユーザーを移行し、2.5 GHz などの都市部でよりよく使用される容量バンドに集中する戦略でその結果から周波数を州に返すことを決めた。

まだ包括的な 5G 戦略は発表されていない。

[The 5G network is holding back in Mexico](#)